

5歳児健診の事後検証方法について協議

平成28年度 第2回母子保健対策小委員会

- 日 時 平成29年3月28日（火） 午前11時～午後0時20分
- 場 所 鳥取大学医学部附属病院 第二中央診療棟 3階 会議室4
- 出席者 8人
神崎・大野・笠木・坂本各委員
県子育て応援課：川島係長
県子ども発達支援課：山岡主事
健対協事務局：岩垣係長、田中係長

議 題

1. 5歳児健診（発達相談）、健診マニュアルの事後検証について

平成29年1月25日に開催した5歳児健診マニュアル（鳥取県版）講習会において、健診の精度や事後フォローの検証をして欲しい、就学後の育ちを是非知りたい、この健診が発達支援や子ども達の育ちにどこまで有意義なのか是非知りたい、などの意見が寄せられた。講師の前垣先生からも「検証は必要」とのコメントもあり、小委員会において、今後どのように検証を進めていくのか検討した。

- ・マニュアルが効率的に機能するかどうかの検証は必要。どういう項目が健診本来の目的に適しているかを検証し、効率の良い5歳児健診に。
- ・運動、社会性、言語発達をみる項目（5歳児健康診査票の26番の質問）は通過率が出る。この通過率の年次比較はできる。また、事前に保護者が記入する内容と、当日に看護師や保育士が確認した内容との関連、相違などの検証もできる。（じゃんけん、しりとりなど）
- ・SDQスコアと医師の最終診断との関連の検

証はどうか。

- ・問診やSDQでピックアップされた子について、その後の小学校での様子を聞くような調査ができれば理想。保護者に対し学校からアンケートし、その結果をもらうことは可能か。
→個人情報であり、一度、教育委員会へ相談してみたい。（笠木委員）
- ・逆に、学校現場で支援が必要とされた子が、1歳半、3歳、5歳児健診はどうだったのか。市町村から過去の健診データ提供してもらうことは可能か。
→5健の調査票（問診票）は現在、全県共通ではない。ただ、今回マニュアル改訂したことから、今後採用する市町村が増え、共通した統計が取りやすくなる可能性はある。事前にお願ひすればデータ提供は可能と市町村から回答いただいている。（県子育て応援課）
- ・集まったデータの集計作業は、鳥取大学医学部脳神経小児科で協力可能。
- ・現時点で出来ることは、5健マニュアルでチェックされた子が医療機関を受診し、その最終診断がどうだったのか、という検証か。

- ・保育園で気になる子は、市町村教育委員会に引き継がれている。ただし全員が出来ているわけではない。5健ノーフォローでも入学後に問題行動や支援が必要となり学校で対応に苦慮するケースがある。

2. 次年度（平成29年4月以降）の小委員会について

- ①これまで鳥取県で実施した5歳児健診のまとめ、事後検証を検討するための小委員会を開催する。開催時期は未定。メンバーは今後検討する。
- ②産前産後を含めた母子保健に係る鳥取県版の「切れ目ない支援体制」の構築に向け、専門家の意見も伺いながら小委員会を立ち上げ検討を始めたい。①とは別開催とし、産婦人科医、精

神科医or心療内科医も加え、妊娠期の各種教室、出産後の産後ケア事業、子育て支援、発達相談など、妊娠期～小学校にわたり、県内どこでも一定水準以上の支援が受けられるよう切れ目ない支援体制の構築について検討を始める。

3. その他

- ・1月25日の講習会の様子をビデオ録画しており、当日参加できなかった方で希望する場合はDVDの貸し出しが可能である。事務局までご連絡願いたい。
- ・平成29年度も健診マニュアル講習会を開催する。内容は今後検討する。
- ・5歳児健診マニュアルの抜粋版を、県子育て応援課ホームページに掲載している。

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ (<http://www.tottori.med.or.jp>) のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→ 「鳥取県健康対策協議会」

<http://www.kentaikyou.tottori.med.or.jp>

